

読

Yomiuri Nippon
Symphony
Orchestra
55th Anniversary

響

グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番
ドヴォルザーク：交響曲第9番
「新世界から」

世界的巨匠テミルカーノフが登場！

華麗なる 新世界

躍動するリズムと輝かしい響き。
興奮のクライマックス！

ベルリン・フィルやウィーン・フィルなどを指揮し、
サンクトペテルブルク・フィルを率いる巨匠
ユーリ・テミルカーノフ（読響・名誉指揮者）



名門ドイツ・グラモフォンからCDをリリースし、
欧州で注目を浴びるスペインの新鋭
レティシア・モレノ（ヴァイオリン）

©Omar Ayyashi



読売日本交響楽団（管弦楽）

読売日本交響楽団 第609回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 609

2018年2月20日（火）19時開演

サントリーホール

Tuesday, 20th February 2018 19:00 / Suntory Hall

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,000

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

<http://yomikyo.or.jp/>

(10時～18時・年中無休/年末年始を除く)

■学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証/25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します（学生券に関するお問い合わせは読響チケットセンターまで）。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）

世界的巨匠テミルカーノフが登場。 名曲「新世界」が華麗かつ壮大に響く！

現代最高峰のロシアの巨匠ユーリ・テミルカーノフ（読響・名誉指揮者）が登場！ 来日時には79歳で、世界各地の聴衆を魅了するマエストロが、ドヴォルザークの名曲「新世界」などで圧倒的な演奏を披露します。

“まるで魔法のようだ”と言われるテミルカーノフの指揮は、さりげない表情の変化と指先のわずかな動きだけで、楽団員を見る見るうちに本気にさせ、温かく色彩豊かな響きをつくり上げます。そして自然に聴衆の心をぐっと掴んでしまいます。

今回は、前半にロシアの作品からグリンカとプロコフィエフの傑作を、後半にはドヴォルザークの「新世界」をお届けします。ロシア音楽を得意とするマエストロは、地理的に近いスラヴや東欧の音楽も得意としており、このプログラムでも練達の手腕を存分に発揮することでしょう。

ドヴォルザーク特有の民俗的な舞曲のリズムを引き立て、親しみやすいメロディをたっぷりと歌い込み、生きる喜びや勇気を与えてくれるに違いありません。「家路」のテーマで有名な第2楽章の旋律も、懐かしい思いを呼び起こし、胸に染み入るでしょう。テミルカーノフと読響の渾身の演奏に、どうぞご期待ください。

前半のプロコフィエフの協奏曲では、テミルカーノフが絶大な信頼を寄せているスペインの若手ヴァイオリニスト、レティシア・モレノがソリストを務めます。ゲルギエフ、メータ、サロネンら巨匠と次々に共演し、名門ドイツ・グラモフォンからCDをリリースしている期待の新星です。息をのむような美しい音色や完璧なテクニックで、難曲を軽々と弾きこなし、聴衆を熱狂の渦へ巻き込みます。



指揮

ユーリ・テミルカーノフ

Yuri Temirkanov, Conductor

世界各地で愛されているロシアの偉大なるマエストロ。ムラヴィンスキーの後を継ぎ、1988年から現在に至るまでサンクトペテルブルク・フィル（旧レニングラード・フィル）の芸術監督・首席指揮者を務め、充実した音楽活動を展開している。これまでにレニングラード響、ロイヤル・フィルの首席指揮者、キーロフ劇場（現マリインスキー劇場）の音楽監督、ドレスデン・フィルの首席客演指揮者などを歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、ニューヨーク・フィルなど世界の一流楽団と共演を重ねている。BMGレーベルから多数のCDをリリース。読響には2000年の初登場以来、共演を重ねており15年6月から名誉指揮者の任にある。楽団員と聴衆双方から絶大な支持を得ている。

ヴァイオリン

レティシア・モレノ

Leticia Moreno, Violin

欧州で注目を浴びるスペインの新星ヴァイオリニスト。マドリッドのソフィア王妃高等音楽院とケルン音楽大学などでブロンヤヴェンゲーロフに師事。シェリング国際コンクール、サラサーテ国際コンクール、クライスラー国際コンクールなどで受賞。2012年に権威ある新人賞“エコー・ライジング・スター賞”を受賞。これまでにテミルカーノフ、メータ、サロネン、エッシェンバツハら著名指揮者の指揮で、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィル、ケルン放送響、マーラー室内管、ワシントン・ナショナル響などと共演している。録音では、名門ドイツ・グラモフォン・レーベルから2枚のソロ・アルバムをリリースし、高い評価を得ている。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、オーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。アルブレヒトやスクロヴァチェフスから世界的巨匠が常任指揮者を歴任し、現在はS.カンブルランが常任指揮者を務めている。2015年には、欧州公演をカンブルランの指揮で行い、現地の音楽関係者から最上級の評価を受けた。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京のサントリーホールや東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催している。また、病院や小中学校での演奏なども手掛け、社会貢献や音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を続けている。<http://yomikyoku.or.jp/>

読売日本交響楽団 第609回 名曲シリーズ

2018年 **2月20日** (火) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅（3番出口）より徒歩約5分。銀座線「溜池山王」駅（13番出口）より徒歩約7分

■学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休・年末年始を除く

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます（一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く）。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド チケットぴあ：0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター：0570-55-0017